

2018 年度事業計画

自 2018 年 7 月 1 日 至 2019 年 6 月 30 日

【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」

【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を实践しよう」

【基本認識】

少子高齢化を背景に乳幼児教育・保育が注目を集めるなか、指針・要領に関する 3 法令の同時改訂（定）や保育者のキャリアアップ体系の構築等、「子ども・子育て支援新制度」の諸施策がスピード感を増している。

それらの施策においては、これまで以上に、保育実践の充実や専門職としての資質向上が望まれているが、私たちが真宗保育の实践として保育を組み立てていく上では、どのような「子ども観（人間観）」を基盤とするのか（『真宗カリキュラム vol. 3』P16）、という問いの重要性を、あらためて実感する。

当協会の今年度事業においては、「大切なことを見つけ続け、考え続け、実践し続ける人」になり続けていくという「成長し続ける保育者」（『真宗カリキュラム vol. 3』P13）の歩みとして、その問いに向き合えるよう、さまざまな対象（加盟園保護者・保育者、宗派内関係者、乳幼児教育研究機関、現代社会）とのつながりを創出しながら、以下の重点施策に取り組みたい。

【重点施策】

(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

『真宗保育カリキュラム』は、刊行後、協会の各種研修や加盟園の保育実践において活用され成果も上げてきたが、まだ全国的に認知されているとは言い難い。引き続き、真宗保育の理念や、現場での実践等の内容について広報し、普及・活用を促していく。

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

これまで『真宗保育カリキュラム』の内容伝達は執筆者の役割となることが多かったが、今後の普及・活用のため、各加盟園の設置者や園長が「語れる人」となるよう人材養成を目的とした研修・協議の場を設ける。（今年度より、支部持ち回りで開催されてきた「表現研修会」は「カリキュラム研修会」として開催し、共益事業の「加盟園交流研修会」は「設置者・園長等研修会」として開催する。いずれも『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業として展開する）さらには、カリキュラム使用の実践体験を関係者に還元する場としていく。

(2) 研修テーマ「そだつ」の更なる展開への取り組み

① 第18回全国真宗保育研修大会（金沢会場）開催に向けての準備

期 間：2019年7月6日（土）～7日（日）

会 場：（1日目）ホテル金沢、（2日目）ホテル金沢または石川県立音楽堂

講 師：木越 康氏（大谷大学学長）、大豆生田啓友氏（玉川大学教授）

② 次期研修テーマの検討に向けた取り組み

研修テーマ「そだつ」の継続とともに、昨年の第17回全国真宗保育研修大会（高山大会）にて発表したサブテーマ「一人ひとりのそだつにであう」を諸研修の内容につなげていく。また、研修テーマと『真宗保育カリキュラム』のリンクについても検討していく。

さらに、研修テーマの実践について総括した上で、次の研修テーマを検討する。

③ こどものうた 第3期制作

第3期は公募の形を変更し、シンガーソングライターの中川ひろたか氏（第1期より継続）の作詞・作曲によるこどものうた（1曲）を制作し、今年度夏期を目途に楽曲配信をめざす。うたは引き続き、シンガーの陽香（はるか）氏（第1期より継続）にレコーディングを依頼する。

併せて『こどもニュース7』（第13号「第3期こどものうたできました」）を作成発行し、広報活動を展開する。

今後は、2023年の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年に向けて、親しみのある事業となるよう、「こどものうた」が保育現場やお寺の子ども会、また一般の方々にどう受けとめられているのか感想や意見を集約し、次期以降の制作に向けて体制を整える。

(3) 保育心理士会による保育心理士の活動支援の充実

① 保育心理士養成校の拡充

本年度より真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学において、保育心理士（二種）養成が開設されることにより、さらに学術的表現を展開していく土壌整備が期待される。

また、真宗大谷派関係学校の枠を越えて、さまざまな大学において保育心理士の養成がなされるよう、引き続き、情報の提供と学校との関係構築を推進する。それに伴う、事務作業の負担軽減への対応も検討する。

② 保育心理士養成講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系の構築の動きに際して、真宗保育の理念を基として、積極的に当資格の人員育成を推進するために、京都をはじめとし同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりを模索する。【認定都道府県：福岡県、岐阜県】

(4) 協会組織の機構充実、人材発掘

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年に向けた準備が本格化している宗派の状況にあつて、協会としても“真宗同朋会運動における青少幼年教化を担当する役割”を確かめ合い、かかわっていただく仲間、同志の広がりを目指していく。

特に、少子高齢化、人口減少が宗派の諸事業にも影響を与え始めた昨今、「園には子どもがいて、保育士がいる。子どもには親がいて祖父母がいる。真宗保育は本当の真宗同朋会運動だ」という諸先輩からの薫陶にあらためて触れ、まずは、あらゆる人材の参画を要請し、協会組織の機構充実に取り組む。

I 幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）

I-1 調査研究事業

真宗保育の実践が、実際の保育現場での共通理解において行われるよう、その表現の仕方、その課題の深め方について調査研究する。

また、この研究結果を頒布事業、研究事業、資格認定事業に反映し、各事業の論理的な総合性を図る。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、体系を整え、保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催する。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1～3』のテキスト化への展望を図る。
- ③ 真宗大谷派学校連合会大学部会による「真宗保育研究会」に当協会の担当者及び研究所員が参加し、研究会の運営と内容の探求に努める。
期日：2019年2月を予定
会場：未定
- ④ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を協会各部門と連携しながら考察していく。例えば、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの推進を図る。
- ⑤ 研修テーマである「そだつ」について、仏教・真宗的視点からどのように内容を付与できるかを考察する。具体的には経典、聖教などの言葉を用いながら学術的にアプローチし、協会全体に何らかの形で公表できるようつとめる。

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催する。
 - ・第11回保育心理研究会
（期 日）2019年1月13日（日）
（会 場）大谷大学（予定）
（講 師）武谷茂氏（予定）
- ② 保育相談及び育成指導
研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努める。また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催する。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行し、市民に子どもたちの姿を伝える。

また、保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行う。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行う。

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	-	550
うでわ念珠 青 子ども用	150 円	124 円	2000	3000
うでわ念珠 青 大人用	150 円	134 円	1000	1700
うでわ念珠 ピンク 子ども用	150 円	124 円	1000	1500
うでわ念珠 ピンク 大人用	150 円	134 円	1000	1100
白念珠	120 円	105 円	-	1500
念珠袋	280 円	235 円	-	1600
おつとめちょう	100 円	40 円	-	1100
真宗保育者手帳	500 円	480 円	-	10
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	-	30
八女ちょうちん	180 円	107 円	100	100
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円	6000	5500
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	-	10
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500 円	1,827 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000 円	859 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000 円	575 円	-	100
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	-	10
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	-	50
こどものうた③ ぼくたちこども	未定			

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
2. アイヌ民族文化と子育て	280 円	200 円	-	10
3. 本当に大切なこと（一楽真）	280 円	105 円	-	100
4. なぜ浄土なのだろうか（中川皓三郎）	240 円	115 円	-	10
5. いのちの教育のすすめ（田代俊孝）	240 円	145 円	-	10
6. 真宗保育の名で育てたい子ども・人間（加藤守孝）	220 円	134 円	-	10
7. あそび（宮城顛）	220 円	127 円	-	50
8. 敬うとは何か（加藤祐伸）	240 円	138 円	-	10

9. 宗祖としての親鸞聖人に会う (池田勇諦)	110 円	50 円	-	10
10. 真宗と保育 (一楽真)	280 円	105 円	-	100
11. いのちありがとう (真城義麿)	240 円	151 円	-	100
12. 誕生 (三明智彰)	220 円	110 円	-	30
13. 真宗保育をデザインする (富岡量秀)	250 円	160 円	-	50
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-(吉元信暁)	240 円	175 円	-	100
15. 「する」(doing) から「ある」(being) へ (芹沢俊介)	350 円	125 円	2000	1000
16. 真宗保育をデザインする② (富岡量秀)	300 円	130 円	1800	800
17. タイトル未定 (佐賀枝夏文)	未定	—	—	—

(2) 新教材の発行

① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を作成する。

② 新たな保育教材を発行する。

【2018 年度発刊予定】

- ・真宗保育ブックレット17 タイトル未定
佐賀枝夏文氏 執筆 (大谷大学名誉教授・高倉幼稚園園長)
- ・こどものうた③『そだつ』
「ぼくたちこども」 作詞・作曲 中川ひろたか氏
- ・こどもニュース7 (第13号)
第3期「こどものうた」について

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に望めるよう研修内容をより深めていく。

また、第17回全国真宗保育研修大会(高山)で発表した研修テーマ「そだつ」のサブテーマ「一人ひとりのそだつにであう」のさらなる周知と各支部での研修テーマに基づく研修の奨励を行う。

人が生きていくうえで最も大切な「いのち」、その「いのち」の「そだち」に、どう関わっていくのか。研修を通して学び、保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努める。

(1) 研究会・研修会事業

① 第62回仏教保育大学講座 事前学習会

(期 日) 2018年7月11日(水)

(会 場) 真宗大谷派宗務所

(参加者) 仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

② 第62回仏教保育大学講座(真宗十派共催・真宗大谷派当番)

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みを持つ。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とする。

日程においては、少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めあう。

(対 象) 2年目以上の保育者

(期 日) 2018年8月1日(水)～4日(土)

(会 場) 大谷大学・ホテル「洛兆」

(講 師) 四衢亮氏(高山教区不遠寺住職／「青少年センター」研究員)

(讃歌指導) 浄土真宗本願寺派総合研究所 研究協力者

(募集人数) 140名

・仏教保育大学講座委員会を年2回開催予定

③ 新任研修会

各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えたいことを知る。

(対 象) 1年目の保育者

(期 間) 2018年10月12日(金)～14日(日)

(会 場) しんらん交流館・大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス(予定)

(テーマ) そだつ(『真宗保育カリキュラム』の活用を踏まえて)

(講 師) 未定

(募集人数) 30名

- ④ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）
保育を実践していくうえで、現場保育者の中心的存在となる主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。真宗本廟を会場とし、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を確認し実践にいかしていく。
（対 象）主任・中堅保育者（保育経験5年以上）
（期 間）2019年6月開催予定
（会 場）真宗本廟境内及び同朋会館（予定）
（講 師）未定
（テーマ）そだつ
（募集人数）20名
（特記事項）保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）
- ⑤ カリキュラム研修会（従来の「表現研修会」を変更）
前年度まで実施していた表現研修会を、今年度新たに「カリキュラム研修会」として開催する。
『真宗保育カリキュラム』は、各種研修や加盟園において活用され、成果も上げてきた。しかし、まだ全国的に認知され、利用されているとは言い難い。『真宗保育カリキュラム』は、真宗保育についての理念や、現場での実践について書かれており、日常の保育への大きな手助けとなるものである。これまでも広報や、全国大会、各種研修などで紹介してきたが、今年度より真宗保育のより一層の充実のために、研修会を通して普及・活用を促していきたい。
（対 象）保育者
（期 間）2019年5月頃
（会 場）未定（全国各支部との共催で行う）
（テーマ）『真宗保育カリキュラム』に学ぶ
（講 師）未定
（募集人数）30名
（特記事項）保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）
- ⑥ 協会主催研修のシラバスの整備
協会主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会）のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させる。
- ⑦ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得
昨年度から各都道府県ですすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざす。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行する。

II-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行う。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指す。

また、2013年度から2種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き1種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

(1) 保育心理士養成講座

【本部主催分】

- ① 京都会場【会場：真宗教化センターしんらん交流館・真宗大谷派宗務所】
《第1～4、修了式日程》 2018年8月22日（水）～26日（日）
- ② 九州会場【会場：九州大谷短期大学】
《第1・2日程》 2018年7月7日（土）～8日（日）
《第3日程》 2018年10月20日（土）
《第4・修了式日程》2019年1月26日（土）～27日（日）
- ③ 東京会場【親鸞仏教センター】
《第3・4日程》2018年9月8日（土）～9日（日）
《修了式日程》2018年12月1日（土）※フォローアップ講座同時開催
《第1・2日程》未定
- ④ 名古屋会場【同朋大学】
《第2日程》2018年7月21日（土）《第3日程》2018年9月22日（土）
《第4日程》2018年10月6日（土）《修了式日程》2018年11月24日（土）

(2) 保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催する。講座開催地域を広げるため、連区、支部とも共催して行う。

(3) 連区、支部研修会での単位取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、連区、支部より申請があった場合には、共催としたり、単位取得講座として認定するなどの方法で開催を促進する。

(4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募る。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

	認定種別	年会費	対象者	加入条件
現行	一種会員	3,000 円		
	二種会員	3,000 円		
新設	賛助会員（個人）	3,000 円	加盟園の設置者	保育心理概論の講義受講で入会可
	賛助会員 （法人・大谷保育協会加盟園）	なし		申請で入会可
	賛助会員 （法人・大谷保育協会非加盟園）	3,000 円		申請で入会可

(5) その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

保育心理士認定申請がある度に開催、期日・会場 未定

【保育心理士会集会】第 1 1 回保育心理研究会と併催

期日：2019 年 1 月 13 日（日）

会場：大谷大学（予定）

【保育心理士講師集会】

必要に応じて開催

【保育心理士会幹事会】

年に 3 回程度開催、期日・会場 未定

【エリアマネージャー会議】

期日：2019 年 1 月 12 日

会場：真宗大谷派宗務所（予定）

※第 1 1 回保育心理研究会前日に開催

② 保育心理士（1 種・2 種）養成校との協議会

必要に応じて開催

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供する。

(1) 機関誌等の配布

- ① 月刊誌「真宗保育」第431～442号を頒布する。
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。
- ② 「こどもニュース7」を発行し、加盟園のみならず、寺院・教会の子ども会や一般にも広く活用いただけるものとする。今年度は「第3期こどものうた事業」を題材として取り上げ、「こどものうた」の普及をはかる。
- ③ 機関誌「ほいくしんり」（協会編、エイデル研究所発行）を頒布する。

(2) 協会ウェブサイト ホームページの運営

協会関係者以外の方の閲覧を想定した協会ウェブサイトの見直し、スマートフォン閲覧対応を行う。協会（静的）のこと・研修（動的）のことについて見分け（メリハリ）をつけ、わかりやすい情報発信をしていく。

リアルタイムで情報更新を行い、各支部や加盟園の活動報告を掲載するなど協会全体で情報を共有できるようシステムを構築する。

(3) 園児絵画展

園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて、駅ギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示し、不特定多数の方々にご覧いただく。加盟園での情操教育の基礎となっている真宗保育にも触れていただく。

（期 間）2018年11月14（水）日～11月28日（水）

（会 場）真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下、しんらん交流館、
および京都駅公益地下ストリートギャラリー

（展 示）全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

(4) “こどものうた” 事業

研修テーマを題材として、日々の保育の中で子どもたちが口ずさみ、歌い継がれていくような願いのもと、2013年度より1期2年間、5期10年継続の計画として展開され、第2期まで一般公募より制作事業を進めてきた。

第3期は公募の形を変更し、中川ひろたか氏（第1期、第2期より継続）の作詞・作曲によるこどものうた（1曲）を制作し、今年度夏期を目途に楽曲配信をめざす。うたは引き続き陽香（はるか）氏（第1期、第2期より継続）にレコーディングを依頼する。

(5) 「子どもの森づくり運動」への参加

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努める。（現在、8ヶ園の加盟園が参加している）

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

「子ども・子育て支援新制度」についての情報交換、施行にともなう協会加盟園の動向についての把握に努める。加盟園交流研修会において、全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行う。

(1) 人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請する。

(2) 設置者・園長等研修会（従来の「加盟園交流・研修会」を変更）

協会やそれぞれの園、地域を取り巻く時代環境の情報を交換する。また、『真宗保育カリキュラム』の普及、活用に取り組む。

（対 象）理事・園長・設置者・後継者

（期間・会場・講師）未定（全国大会との隔年開催の予定）

（募集人数）40名

(3) 加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努める。

(4) 各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努める。

(5) 「真宗教化センターしんらん交流館」との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努める。

2013 年度の加盟園交流研修会で国吉栄先生から提起いただいた関信三師に関する学びについては引き続き協議する。真宗大谷派と関係の深かった師の近代日本の黎明期に果たした幼児教育に関わる足跡と思索をたどることで、現代社会に発信可能な「真宗保育の実践課題」を見出したい。

(6) 会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載する。

(7) その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送る。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ

伝達する。(各支部長経由)

- ② 入園式・卒園式への祝辞
各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送る。
- ③ 各園での記念式典への感謝状
園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送る。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。
公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広く世間に知らせていく。

(1) 管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行う。

(2) 協会 I C T 環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開し、社会的責任を果たす。また、協会の I C T インフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

(3) 採用情報提供システムの施行

保育士、幼稚園教諭等施設職員不足に対応するために、当協会の全国組織の特徴を生かし、Uターン就職及び真宗保育を望む学生に採用情報を提供する仕組みを試行する。

(4) 協会を P R するパンフレット等の作成

幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広く P R するため、パンフレット等の作成を行う。

(5) 加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行う。

(6) 常務理事会に関する事項

年に 3 回以上必要に応じて開催。

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第 1 5 回（事業報告・決算承認）

期日：2018 年 8 月 29 日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第 1 6 回（臨時：正副理事長・常務理事選出）

期日：2018 年 9 月 13 日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第 1 7 回（次年度予算・事業計画）

期日・会場：未定（2019 年 5 月を予定）

② 第 7 回総会

期日：2018 年 9 月 13 日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

(8) 諸会議に関する事項

① 正副部所長会 年 1 回以上必要に応じて開催

年間活動計画の策定と活動状況の報告を行う。

② 総務部会に関する事項 活動の状況に応じて随時開催